

# 「JR三島・貨物経営安定化PT」第3回会合！

## 高速道路料金問題への緊急提言で意見交換

JR連合は、6月7日、議員会館でJR三島・貨物経営安定化プロジェクト（以下PT）の第3回会合を開催した。

今回は、平成26年以降の高速道路料金問題への提言内容について意見交換をおこなった。会議には、座長の小川淳也衆議院議員（香川1区）、アドバイザーの神戸大学正司副学長、関係単組の代表者、JR連合役員らが出席した。



冒頭、JR連合の坪井会長は「高速道路の料金問題は、とりわけ経営基盤の脆弱なJR三島・貨物会社への影響度が大きい。持続可能な総合交通体系の維持に向けた取り組みを行っていく」と述べた。

PT座長である小川衆議院議員は「JR三島会社・JR貨物に対しては、例業務勘定利益剰余金を活用した支援策や税制特例措置の確保に微力ながらお手伝いさせて頂いた。しかしながら平成26年度以降の高速道路問題は各社の経営への影響が大きい。総合交通体系の維持に向けて提言内容を議論し、政治的な解決を求めていくことも必要である」と述べた。

意見交換では、政府が高速道路に関わる抜本的な見直しに着手するにあたり、持続可能な交通体系の維持、競争条件の同一化を図るべく提言を行うことにしたもので、具体的に①高速道路料金設定②建設のありかた③租税措置の取扱い④本四高速の取扱い⑤モーダルシフトへの誘導⑥公共交通に対する公的支援の検討等の骨子について委員間で活発に討議を行った。

今後のPTについては、高速道路問題への対応を含め、各社の経営自立計画期間内の課題解決や、計画期間終了後の経営基盤強化に向けての方策等を短期的、中長期的それぞれの視点に立ち政策立案を行い、最終答申を策定していく。